



「チカラがつく」

Point 1

めざす将来に合わせて選べる3コース制。

立正大学経済学部では「経済学」「国際」「金融」の3つのコースを設置しており、皆さん一人ひとりがめざす将来や目標に合わせて選択することができます。それぞれのコースでは、実践的な経済学を学びながら、経済分野で“求められる人”となるための幅広い知識と高い専門性の修得をサポートします。

幅広い経済学の世界を体系的に学ぶ

経済学コース

Economics Course

経済学を基礎から専門まで体系的に学修し、どのような職業に就いても必要となる「経済を見とおす目」を養います。また、数多くの教養科目や外国語科目を学び、実践型科目「経済フィールドワーク」で経済の現場を体験することで、国際社会でも通用する豊かな教養や、自ら課題を発見して解決する力が身につきます。



学びのキーワード #市場経済 #インセンティブ #日本経済 #国際経済 #公共政策 #データ分析

世界で活躍するビジネスパーソンをめざす

国際コース

International Course

ビジネスで必要とされる実践的な英語力を修得し、世界で活躍できる人材をめざすコースです。英語と経済学を並行して学ぶことで、グローバルな視点で経済学の学びを深めていきます。海外の大学生とオンラインで英会話を行う授業や語学研修プログラム等、「英語のスキルを磨く」ための科目やプログラムも充実しています。



学びのキーワード #ニュース英語 #ビジネス英語スキル #ビジネス英語交渉術 #グローバルゼーション

金融・財務に関する深い理解を養う

金融コース

Finance Course

金融機関、一般企業（財務担当）への就職をめざす学生に特化したコースです。金融を深く学び、お金の視点から経済の仕組みや家計・企業の経済活動を理解します。簿記、ファイナンシャル・プランナー、宅地建物取引士といった、金融・財務に直結した資格取得をサポートする体制やカリキュラムも充実しています。



学びのキーワード #保険 #簿記 #財務諸表 #銀行 #資金調達 #証券 #ファイナンシャル・プランニング

「チカラがつく」

Point 2

基礎から応用へと無理なく学べるカリキュラム。

経済学部では、学生の皆さんが初めて経済学を学ぶことを前提に、1年次には「経済学の基礎」、2年次には専門的な基本科目、3年次以降には専門的な応用科目と、段階的にステップアップできるカリキュラムを設けています。

✓ クラス制で丁寧に基礎を固める

1年次の必修科目ではクラス制を敷いており、1学年を3〜4クラスに分けて授業を実施しています。教員の目がクラス全体に行き届きやすく、学生から教員への質問や相談もしやすい環境なので、安心して経済学の学修をスタートすることができます。経済学の学修と並行して、国際コースでは2年次以降の短期留学に向けた準備、金融コースでは簿記・財務諸表といった金融に関わる基礎知識の修得を進めていきます。語学やパソコン操作といった「学びの基礎となるスキル」についてもクラス制のもとでじっくり丁寧に学んでいきます。

✓ 多彩な科目で専門性を高める

2年次からは、それぞれの興味・関心にしたがって、より専門的・応用的な内容を学んでいきます。「○○経済学」「○○論」といった、幅広い経済学の世界を網羅できるさまざまな専門科目はもちろん、国際・金融コースではそれぞれのコースが掲げる目標に向かって知識やスキルを磨くための多彩な科目を設けています。現役のジャーナリストを招いて行う授業や、学生自身が企業への取材、記事の執筆を行うことをとおして実践的なビジネススキルを学ぶ授業等、「知識を応用する力」を養う授業も開講しています。

カリキュラム

卒業基準単位数: 124 教養的科目: ≥20 専門科目: ≥80

※2023年4月1日入学者の場合。 ※教養的科目および専門科目の必要最低単位数以上を修得し、卒業基準単位数を充足します。

		1年次	2年次	3年次	4年次
		4年間の基礎となる「知のインフラ」を修得 経済を深く学ぶための基礎的な知識を修得。入門科目を中心に、英語や数学、パソコン操作を学びます。	深めたい分野を段階的に学ぶ 興味のある分野を専門的・応用的に学修。またゼミナールでグループ学習等も始まります。	ゼミナールで専門分野を追究する 2・3年次のゼミナール活動と同じ教員が2年間指導。学生が主体となり研究テーマを深めていきます。	道路を視野に入れ学びの集大成を得る 4年間の集大成となる研究活動として、研究テーマを分析し、問題解決に導く論文作成に取り組みます。
必修科目		◦ミクロ経済学基礎 ◦マクロ経済学基礎 ◦経済史基礎 ◦マルクス経済学基礎 ◦数学基礎 ◦統計学基礎			
選択必修科目/選択科目	経済学コース	◦経済フィールドワーク1・2		◦経済学検定1〜3	
	国際コース	◦Introduction to Business and Economy ◦Preparation for Studying Abroad 1・2 ◦英語検定1〜3	◦News English 1・2 ◦Business English Skills 1・2 ◦Business Discussion 1・2 ◦Business Presentation 1・2 ◦海外語学研修1・2	◦Business Negotiation ◦Japanese Economy	
	金融コース	◦金融論基礎 ◦簿記検定1〜3 ◦財務諸表論 ◦金融検定1〜3 ◦実践簿記1・2	◦保険論 ◦リスクマネジメント	◦コーポレート・ファイナンス3・4 ◦銀行論1・2 ◦アメリカの金融 ◦中国の金融	
共通科目	◦ミクロ経済学基礎演習 ◦マクロ経済学基礎演習 ◦経済史1 ◦法学 ◦政治学 ◦憲法 ◦民法 ◦経営学 ◦商法 ◦簿記 ◦会計学	◦ゼミナールI ◦ミクロ経済学 ◦マクロ経済学 ◦ミクロ経済学演習 ◦マクロ経済学演習 ◦マルクス経済学1・2 ◦法学 ◦現代資本主義論1・2 ◦日本経済史 ◦欧州経済史 ◦アジア経済史 ◦アメリカ経済史 ◦労働経済学1・2 ◦国際言語学1・2 ◦多国籍企業論1・2 ◦グローバル産業論1・2 ◦農業経済学1・2 ◦都市・地域分析1・2 ◦資源エネルギー論1・2 ◦経済法 ◦労働法 ◦会社法 ◦環境ジャーナリストに学ぶ現代の日本 ◦日経で学ぶビジネススキル/アカウンタリング1・2	◦ゼミナールII ◦中級ミクロ経済学 ◦中級マクロ経済学 ◦EREミクロ演習 ◦EREマクロ演習 ◦現代資本主義論3 ◦気象環境論1・2 ◦国際経済学1・2 ◦国際金融論1・2 ◦日本経済論1・2 ◦経済政策論1・2 ◦公共経済学1・2 ◦開発経済学1・2 ◦労働経済学 ◦行動ファイナンス ◦情報経済学1・2 ◦東証経済分析1・2 ◦証券市場論1・2 ◦社会保障論1・2 ◦地方財政論1・2 ◦統計学 ◦経済指標の読み方 ◦経済学1・2 ◦計量経済学1・2 ◦労働経済学1・2 ◦国際言語学1・2 ◦多国籍企業論1・2 ◦グローバル産業論1・2 ◦農業経済学1・2 ◦都市・地域分析1・2 ◦資源エネルギー論1・2 ◦経済法 ◦労働法 ◦会社法 ◦環境ジャーナリストに学ぶ現代の日本 ◦日経で学ぶビジネススキル/アカウンタリング1・2	◦ゼミナールIII ◦卒業論文	

※上記は主な専門科目です。このほか教養的科目として、学修の基礎1・II、情報基礎1・2、英語リーディング1・2、英語リスニング1・2等多数の科目があります。 ※「共通科目」は、コースにより「選択必修科目」「選択科目」の区分が異なります。 ※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

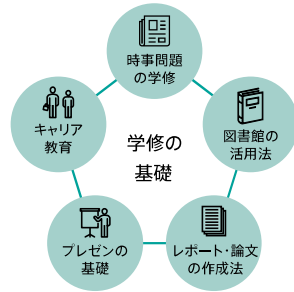
1
ポイント
3

入学から卒業まで続く ステップアップ式少人数授業。

経済学部では、1年次から4年次まで途切れることなく少人数授業を実施しています。4年間、学生と教員が密にコミュニケーションをとれる環境で、専門知識の修得と将来を見据えたスキルアップをサポートします。

学修の基礎(1年次)

大学に入学したばかりの1年生がよく戸惑うのが、高校までの学び方と大学での学び方が大きく異なるという点です。そうした大学での学びに対する不安を解消しスムーズに学修を進めてもらうことを目的とした授業がこの「学修の基礎」です。この授業では15人ほどの少人数で、レポートの書き方やプレゼンテーションの手法等、「大学での学び方」を学んでいきます。友達づくりのきっかけにもなるほか、クラスごとに担当の先生がつくため、大学生活での不安やわからないことについて気軽に質問や相談をすることができます。この授業の一環として、将来の就職活動を見据えたキャリア教育や、秋に1年生全員が受検するニューズ検定への合格をめざして時事問題の学修にも取り組んでいます。



ゼミナール(2年次～4年次)

2年生から始まるゼミナール(ゼミ)では、学生それぞれが自分の興味・関心にしたがって専門分野を選び、4年生までの3年間、同じ先生のもとで少人数で学んでいきます。経済学の分野だけでなく、フィールドワークや語学・文化等、さまざまな分野のゼミが開かれているのも立正大学経済学部ならではの特徴です。ゼミでは学生が主体となって議論や発表を繰り返しながら学修を進めていくため、社会人に必要なリーダーシップやコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力が自然と培われていきます。毎年秋には経済学部の大イベントである「ゼミナール発表大会」が開催され、各ゼミでの研究成果について熱のこもった発表と質疑応答が行われています。



VOICE

学生インタビュー

フィールドワークに惹かれて入学した経済学部。

日々、分析や情報収集、問題解決のスキルを磨いています。

自分でテーマを決め、調査し、発表する機会が多い高校に通っていたこともあって、日本の人口減少や沖縄の経済等、社会や経済の問題に興味を持っていました。立正大学の経済学部で学ぼうと思ったのは、何度かオープンキャンパスに参加して、フィールドワークの面白さに惹かれたから。実際、1年次にフィールドワークで吉祥寺を訪れ、この街ならではの特性や問題点に触れ、「生の経済」を体感する貴重な経験ができました。2年次からは、宮川先生のゼミナールで「計量経済学」を学んでいます。これは統計データを使った分析の手法を学ぶもので、社会に出てからもさまざまな局面で応用できるものだと思います。また研究発表やディベート等、人前で話す機会が多く、私にぴったりのゼミナールだと感じています。経済学は世の中のあらゆる出来事が対象になります。これからさまざまなことに興味を持ちながら、学びを深めていきたいです。

経済学部 経済学科 経済学コース 東京都立つばさ総合高等学校出身

経済学科独自の就職サポート

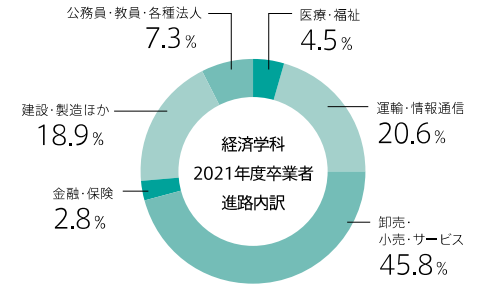
1～3年生を主な対象として、経済学部独自の就職支援セミナーを開催しています。キャリアコンサルタント(国家資格)で企業経営者でもある外部の専門家が講師を務め、就職活動について段階を踏んで学べる内容となっています。

3年生向けの就職支援セミナー

例年、5月～7月頃にかけて計8回にわたって開催しています。労働や雇用に関わる法律や制度、ビジネスマナー等、就職活動を行う上で前提となる基礎知識をはじめ、エントリーシートの書き方、グループディスカッションや面接(個人・グループ)への対応、最新のインターンシップ事情等、実践的な内容についても学びます。就職内定を得た4年生による就職活動の体験報告会や、キャリアコンサルタントによる個別相談も実施しています。

1・2年生向けの就職支援セミナー

1年生向けには、例年1月上旬に全員参加による「キャリア特別授業」を実施しています。キャリアコンサルタントによる講演や就職内定者による体験談を聞くことをとおして、早い段階から将来の就職活動を意識してもらうきっかけづくりをしています。2年生時にも、就職活動に対するモチベーションの維持・向上を目的とした「マインドアップセミナー」を開催しています。



卒業論文テーマ

- 高齢者雇用の促進
- 日本の高齢化社会の現状と将来像
- 障がいと雇用
- AIの実態と共存社会で自分を見失わないために
- 疫病の流行に伴う人口・社会変化
- サウナにおける健康への影響と課題
- 長時間労働 更なる削減のために
- 人手不足解消による地方創生
- 業界で見える経済効果～映画と経済の関連性～
- 事業継承の促進について
- 菓子類への支出金額の推移と気温・降水量との関係
- オリンピックにおける時刻表の考察について
- セイコーマート:地域に愛されるコンビニのなりたち
- 欧州フットボールクラブの光と闇:経営体制の問題説明
- 消費税の引き上げが日本経済に与える影響
- コロナ禍における晩婚化・未婚化の変化 ほか

免許・資格

- 【教員免許】
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
 - 高等学校教諭一種免許状(公民)
 - 高等学校教諭一種免許状(商業)
 - 学校図書館司書教諭
- 【専門職】
 - ファイナンシャル・プランニング技能士*
 - 証券アナリスト*
 - 宅地建物取引士*
 - 博物館学芸員(任用資格)
 - 図書館司書
- 【行政職】
 - 社会教育主事(任用資格)
 - 社会福祉主事(任用資格)

*は資格試験に合格する必要があります。

詳しくはP.16～P.18へ

進路・将来像

- 金融機関/証券会社
- 環境関連企業
- 経営コンサルタント
- 販売士
- 消費生活アドバイザー
- 民間企業全般
- 官公庁/各種公務員
- 中学校社会科教諭
- 高等学校地理歴史科教諭
- 高等学校公民科教諭
- 高等学校商業科教諭
- 学校図書館司書教諭
- 社会教育主事
- 社会福祉主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書 等

詳しくはP.34へ